

## コラム 簡単便利！いざという時の「パッククッキング」

「パッククッキング」とは、耐熱性のあるポリ袋に食材を入れて、湯せんで火を通す調理方法です。災害発生後に、電気・ガス・水道などライフラインが止まっても、家庭にある食材、カセットコンロ、鍋、水、耐熱性ポリ袋を使って、洗い物を出さずに簡単に温かい料理を作ることができます。

作れるメニューは、非常食と日常食品を組み合わせることで、チキンライスや焼きそば、煮込み料理や炊き込みご飯など色々できます。災害時に、温かく、栄養バランスのとれた食事は、心と体を満たしてくれます。無理なく災害時に備える方法の1つです。

詳しくは、農林水産省ホームページに「災害時に備えた食品ストックガイド」「要配慮者のための災害時に備えた食品ストックガイド」が掲載されています。ぜひご覧ください。

「要配慮者のための災害時に備えた食品ストックガイド（農林水産省）」P8より



農林水産省ホームページ  
（パンフレット掲載ページ）

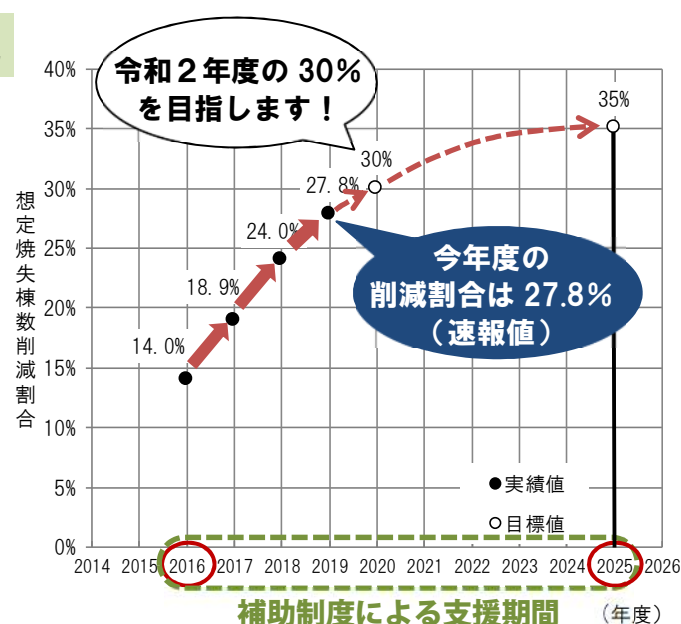
## 目標値の達成に向け市街地の改善を進めていきます

### 想定焼失棟数削減の目標値と達成状況

不燃化重点対策地区である小田周辺地区、幸町周辺地区は、川崎市総合計画において、「大規模地震時の想定焼失棟数の削減割合」（平成21年度川崎市地震被害想定に対して）の目標値を定めています。

小田周辺地区の令和元年度における想定焼失棟数削減割合は27.8%（速報値※）となっています。引き続き、令和2年度の30%以上の達成を目指していきます。

※集計中のため速報値としています



### 小田周辺地区の防災まちづくり お問い合わせ先

不燃化重点対策地区における支援制度の詳細は、右記のホームページをご覧ください。下記のお問合せ先へご連絡ください。

川崎市 不燃化 検索

<http://www.city.kawasaki.jp/500/page/0000018063.html>

川崎市 まちづくり局 市街地整備部 防災まちづくり推進課 電話：044-200-2731（直通）



編集協力：(株)都市環境研究所

川崎市からのお知らせ

川崎市  
KAWASAKI CITY

2020

3月

第6号

## 小田周辺地区

# 防災まちづくり通信

小田・浅田の不燃化重点対策地区内の皆さま

## 防災空地第3号が完成！

令和2年2月、小田周辺地区に防災空地第3号が完成しました。

場所：川崎市小田6丁目119番18  
面積：約89㎡

整備前 空地だった場所が…



整備後 広場になりました！



川崎市小田周辺地区（不燃化重点対策地区）



防災空地は、火災延焼の抑制や避難等の場として役立つほか、平常時は身近な交流広場として利用することができます。

### 防災空地として地域開放にご協力いただける方はご連絡ください！

- 土地所有者の方から更地の土地を川崎市が無償で借り受け、整備を行います。
- 防災空地として地域開放にご協力いただいた場合は、固定資産税・都市計画税が非課税となります。

# 防災まちづくりに取り組んでいます！

他のまちでは、どんな取り組みをしているのだろう？

## 防災空地は地域交流の場として使われています

小田三丁目の防災空地（川崎区小田3-9-8）では、交流イベント「小田らたん横丁」が開催され、地域交流の場として、市民の方に使われています。

### ★親子連れで参加

このイベントは、防災空地が、災害時だけでなく、「日頃誰でも自由に使える場所」であることを、地域の皆さんに知っていただけるよう、小田三丁目町内会の主催で開催され、たくさんの親子連れでにぎわいました。

### ★昔の遊び・駄菓子屋台・似顔絵

会場では、コマやけん玉など昔の遊び、駄菓子屋台、似顔絵が子ども達に大人気でした。また、来場者に「防災空地で何してみたい？」と聞いてみたオープンワークショップでは、フリーマーケットやスポーツイベントなど幅広いアイデアが集まりました。



多くの人でにぎわった「小田らたん横丁」

**小田らたん横丁**  
～防災空地で地域交流～  
2019.10.26 土 ※小雨決行 小田三丁目防災空地でイベントがあるよ！  
10:00～12:00

**イベント**

- 昔の遊び**  
昔懐かしい遊び（コマ返し等）を親子で楽しみ、新しい発見や地域の方との交流を深めよう！
- 駄菓子屋台**  
昔懐かしい駄菓子や飲み物（ラムネ等）を、出張屋台として販売します！
- 似顔絵**  
即興の似顔絵を画用紙に描いてもらえますよ！※先着50名に整理券を配布します
- オープンワークショップ**  
防災空地の新たな活用方法を付箋に書いて集約に貼っていただき、今後の活用に向けています。

奮ってご参加ください！  
防災空地とは？  
火災延焼の抑制や避難空間の確保を主な目的としつつ、平常時は広場などのコミュニティの場として利用する空間のことです。  
土地所有者の方から川崎市が無償で借り受け、整備を行います。  
場所：川崎区小田3-9-8

問合せ先  
（主催）小田三丁目町内会（まちのひろば） 川崎市「まちのひろば」創出推進プロジェクトチーム3班  
【市民文化情報部・企画推進課内】044-200-2094  
【防災空地について】まちづくり部のまちづくり推進課 044-200-2731

「小田らたん横丁」の開催チラシ



似顔絵

駄菓子屋台



### ★オープンワークショップを実施

交流イベント参加者の方から「防災空地でやってみたいこと」を集め、黒板に貼りだしました。

- ・フリーマーケット
- ・移動動物園
- ・スポーツイベント（パターゴルフ、ヨガ等）
- ・パパ会
- ・花植え

など、色々な声が集まり、地域交流の場として、今後の活用の可能性が広がっています！

問合せ先は裏面をご覧ください

「防災空地に興味がある！」という方は、お気軽にお問合せください。

## 防災まちづくり懇談会で視察会（2/13）を行いました

小田地区町内会連合会、小田1丁目町会より20名の方が参加され、大田区の大森中・糀谷・蒲田地区での防災まちづくりの先行事例の取り組みを視察し、地元のまちづくり組織『さんかく隊』の方々と意見交換を行いました。



視察会参加者と『さんかく隊』の皆さん

### 現地視察

防災まちづくりのルール（地区計画）に基づくまちづくりの取り組み例を現地で確認しました。



#### 【壁面の位置の制限等】（西糀谷1丁目3番付近）



指定された道路では、建物の壁面位置を道路中心から3mとし、後退区域には避難上支障となる塀などの設置を禁止することで、避難路を確保

#### 【敷地面積の最低限度】（西糀谷1丁目31番付近）



建物の密集がこれ以上進まないように、最低敷地面積を60㎡と定めることで、それより小さい敷地に分割して建築することを規制

### 意見交換会

さんかく隊の方々より、組織づくりの経緯やこれまでの活動の概要などに関するお話を伺い、意見交換を行いました。



経緯や概要  
『さんかく隊』活動の

#### ★いろいろな人たち

・最初に大田区から防災まちづくりの提案があった時には、町会長だけでなく、商店会、PTAの方が集まって、この『さんかく隊』ができた。

#### ★自分たちの手で

・木造密集エリアは燃えやすく倒れやすく、何かあっても緊急自動車が通れないので、道を広くしたいという思いから、都内の早くから防災まちづくりに取り組んでいる地区に、私たちの会員が直接出向いて勉強してきた。

#### ★子や孫のために

・私たちが汗をかいているのは、子や孫のために良い街を残すためであり、子や孫にまちづくりで苦労したことを伝えられればいいと思う。

問合せ先は裏面をご覧ください

防災まちづくり懇談会は「安全・安心な誰もが暮らしやすいまち」の実現をめざし、皆様と意見交換を行う場です。今後も開催していきます。